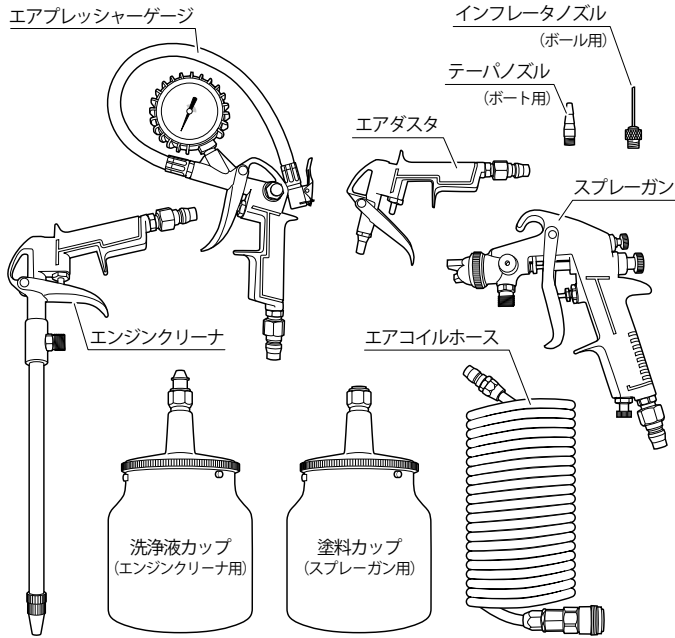


この度は、エアツールセットをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。
お読みになった後は、必ず保管してください。

セット内容

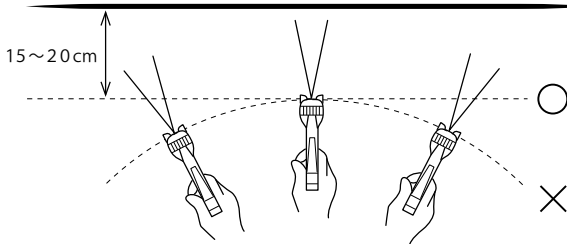


■取扱説明書

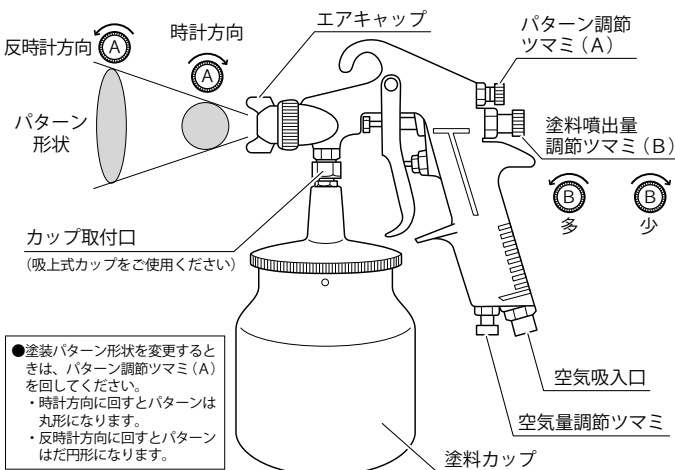
※外観・仕様などは製品改良のため、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

スプレーガン使用方法

1. スプレーガンと塗料カップが確実に接続してあるか確認し、ゆるんでいたなら市販のスパナ (1.6mm) でしっかりと取り付けてください。
取り外しも必ずスパナを使用してください。
2. 使用 (吹き付け) 空気圧は塗料の粘度、性質及び作業条件により異なりますが、0.29 ~ 0.34MPaが最適です。
3. 塗料はうすめ液で適正に薄めたものをご使用ください。
4. 吹き付け距離は15~20cmが最適です。吹付距離が近すぎたり、遠すぎたり、円弧移動して塗装しますと塗装面にタレ、ムラ等が発生する原因となります。(下図参照)



スプレーガン各部名称



仕様

■スプレーガン

常用使用圧力	0.34MPa
ノズル口径	φ1.5mm
供給方式	吸上式
空気消費量	145L/min
塗料噴射量	0.18L/min

■エンジンクリーナ

最高使用圧力	0.98MPa
空気消費量	260L/min
ノズル長	200mm

■洗浄液カップ ■塗料カップ

カップ容量	750mL
-------	-------

■エアダスタ

最高使用圧力	0.98MPa
空気消費量	250L/min

■エアプレッシャーゲージ

測定範囲	0~1,500kPa
目量 (100~1,500kPa)	20kPa
ホース内径	8mm
ホース外径	12mm

※100kPa≒1.02kgf/cm²

■エアコイルホース

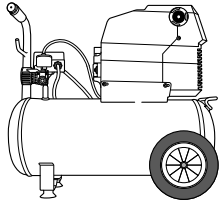
ホース最高使用圧力	約0.58MPa
カップソケット最高使用圧力	約1.00MPa
ホース内径	5mm
ホース外径	8mm
ホース全長	約5m
最大使用可能寸法	約4m

スプレーガン：不完全パターンの原因と対策

故障の状態	原因	対策
息切れ	1. ニードル弁パッキンが摩耗して空気が塗料通路に混入。 2. 塗料カップの取り付けナットまたは塗料ホース継手部よりの空気の混入。	1. ニードル弁パッキン押しねじを締める。または、パッキンを交換する。 2. 継手部の締め付けを確実にを行う。
三日月	1. エアキャップの穴に塗料等の固形物が詰まり、両側からの空気の強さが異なる。	1. 穴の障害物を除去する。この時、金属製のものは使用しない。
かたより	1. エアキャップ口に固形物が付着している。	1. エアキャップに付着した固形物を除去する。
中くびれ	1. 吹付空気圧が高すぎる。 2. 塗料粘度が低すぎる。	1. 吹付空気圧を低くする。 2. 塗料粘度を調整する。
中太り	1. エアキャップの穴からの空気圧力が低すぎる。 2. 塗料粘度が高すぎる。	1. 吹付空気圧を高くする。 2. 塗料粘度を調整する。

エアツールセットについて

エアコンプレッサ



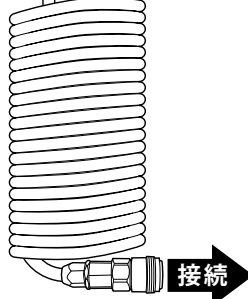
接続

エアコイルホース

エアツールのエア供給に!

⚠️ ご注意

- コイルホースの表面に、有機溶剤が付着した状態で使用しないでください。
- コイルホースはホース最高使用圧力以下でご使用ください。
- 危険ですので、使用中・移動時に強くコイルホースを引っ張ったり、最大使用可能寸法以上に伸ばしたりしないでください。
- コイルホースを重い物で踏みつぶさないよう、注意してください。
- コイルホースの表面にキズをつけないよう、注意してください。
- コイルホースを極端に曲げて使用すると、性能が低下すると同時に折れる原因となります。特にプラグやソケット付近で極端に曲げた状態で使用すると、コイルホースが折れ、破損の原因となります。
- プラグ・ソケットに衝撃を加えないでください。
- プラグ・ソケットの脱着は、コイルホース内の圧力を完全に抜いた上で行ってください。
- コイルホースにキズ・ひび割れ・つぶれ・折れ・膨れ等の異常が発見された場合は、新しいコイルホースに交換してください。
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。



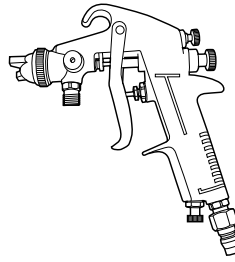
エアツール

スプレーガン

美しい塗装ができる (水性塗料用)
軽量&塗料噴射量調節が簡単!

⚠️ 警告

- 食品関連には使用しないでください。
- 食性 (ハロゲン炭化水素、酸性、アルカリ性) 液体は使用しないでください。
- 火気の近くや引火性の高い環境では絶対に使用しないでください。
- 換気の良い場所で使用してください。
- 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋等)
- 吹き付け時に発生する騒音のため、作業環境が85dB以上の場合には耳栓を使用してください。



- 洗浄、分解または保守作業をする前に必ず残圧を抜いてください。
- 他の装置 (ロボット、レスプロ等) の作業範囲での作業は装置を停止してから行ってください。
- 人や動物に向けての吹き付けは絶対にしないでください。
- スプレーガン、ホースジョイント、ホースはしっかりと固定し、使用圧力範囲内で使用してください。

⚠️ ご注意

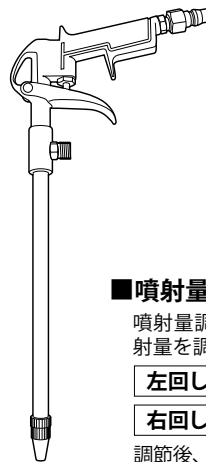
- 本機は吸上式スプレーガンです。塗料カップは下側にセットしてください。このとき、一度ナットを強く締め付けて固定した状態で、絶対に塗料カップだけを手で回さないでください。ナットをゆるめないで回すと塗料カップの破損や液漏れの原因になります。
- 油性ペンキは使用しないでください。油性 (溶剤型) 塗料は、パッキンを傷める原因になります。
- スプレーガンの改造は絶対にしないでください。
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。

エンジンクリーナ

エンジン等の洗浄に最適!

⚠️ ご注意

- 洗浄液カップを取り付けてご使用ください。
- 清浄な乾燥した圧縮空気を供給してください。
- 有機溶剤・強酸材・高温液 (50℃以上)・強アルカリ剤は、絶対使用しないでください。
- 洗浄液がかかる恐れがありますので、耐薬性の手袋・保護メガネ・マスクの着用をおすすめします。
- 本機は吸上式ですので、塗料カップは下側にセットしてください。
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。



■噴射量の調節について

噴射量調節ツマミを回すことで、洗浄液等の噴射量を調節することができます。

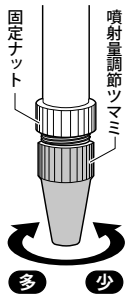
左回し (ゆるめる) ▶ 噴射量が多くなる

右回し (締める) ▶ 噴射量が少なくなる

調節後、固定ナットを噴射量調節ツマミに合わせて固定します。

■洗浄液等の噴射を止める場合

固定ナット→噴射量調節ツマミの順に締め切って止めてください。

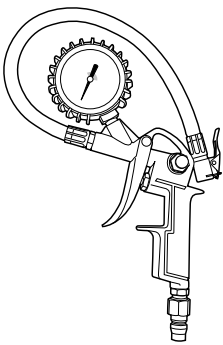


エアプレッシャーゲージ

タイヤの空気圧測定・調整に 使い勝手の良いホース付タイプ

⚠️ ご注意

- 清浄な乾燥した圧縮空気を供給してください。
- 正確な空気圧を測定するため、エアチャックはタイヤのバルブに確実に差し込んでください。
- 規定以上の高圧を測定すると機能に狂いが生じ、針が0に戻らなくなり、正確な測定ができなくなることがあります。注意してご使用ください。
- エア以外には使用しないでください。
- ホースは必要以上に無理に引き伸ばさないでください。
- エア漏れやゴミ等が入らないように、使用後は必ずタイヤのバルブにキャップをはめてください。
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。

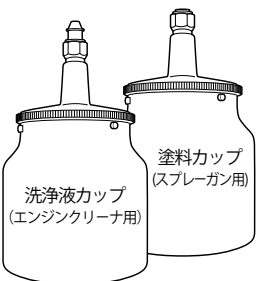


洗浄液カップ・塗料カップ

エンジンクリーナ・スプレーガンに!

⚠️ ご注意

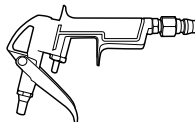
- 本機は吸上式カップです。エアツールの下側にセットしてご使用ください。このとき、一度ナットを強く締め付けて固定した状態で、絶対にカップだけを手で回さないでください。ナットをゆるめないで回すとカップの破損や液漏れの原因になります。
- 油性ペンキ (溶剤型塗料)・有機溶剤・強酸材・高温液 (50℃以上)・強アルカリ剤は、絶対に使用しないでください。
- 規定容量を超えてのご使用はおやめください。
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。



⚠️ 取扱上の注意 (保守点検)

- 作業終了後の各部の洗浄は下記を固くお守りください。
- 各部の洗浄は溶剤を浸したブラシで行ってください。
- 絶対に、カップおよびエンジンクリーナ・スプレーガン全体を溶剤の中に浸さないでください。
- スプレーガン塗料通路の洗浄は少量の溶剤を塗料カップに入れ、吹き付けてください。
- 分解組立時には部品をよく洗浄し、ゴミ等が付着しないように気をつけてください。

エアダスタ



インフレーターノズル (ボール用)



テーパーノズル (ポート用)



切粉や切削油の吹き飛ばし・冷却に 付属のノズルに付け替えて空気入れに

⚠️ ご注意

- 食品関連には使用しないでください。
- 清浄な乾燥した圧縮空気を供給してください。
- 使用空気は、一定空気圧でご使用ください。
- エア以外には使用しないでください。
- 各ノズルを付け替える際は、確実に接続されていることを確認してからご使用ください。
- 作業中は、保護メガネをご使用ください。(粉じんが出る場合は、防じんマスクの着用をおすすめします。)
- 本製品の用途以外のご使用は、絶対におやめください。

新潟精機株式会社

〒955-0061 新潟県三条市林町1丁目22番17号

TEL (0256) 33-5501(代) FAX (0256) 33-5551

URL <https://www.niigataseiki.co.jp>

2404

E942-Q4